2027年3月期
中間決算補足説明資料

2026年11月10日

株式会社 J-MAX

目次

2027年3月期中間決算

1. 連結損益状況
2. 増減要因
3. セグメント業績
4. 設備投資額、減価償却費
5. 連結キャッシュフローの状況
6. 財務状況

2027年3月期通期予想

7. 通期連結業績予想

配当について

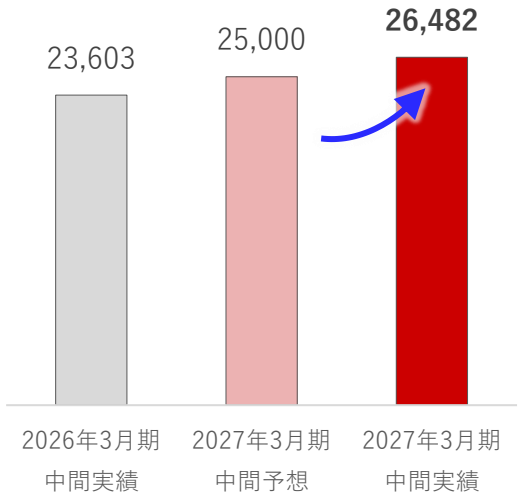
1.連結損益状況

（単位：百万円）

売上高

26,482 百万円

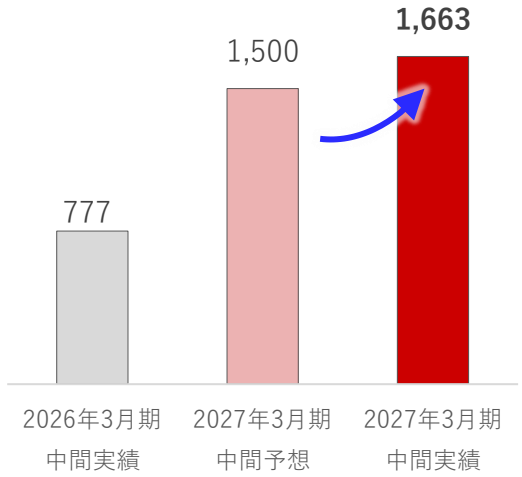
前期比	+12.2%
予想比	+5.9%



営業利益

1,663 百万円

前期比	+114.0%
予想比	+10.9%



経常利益

1,274 百万円

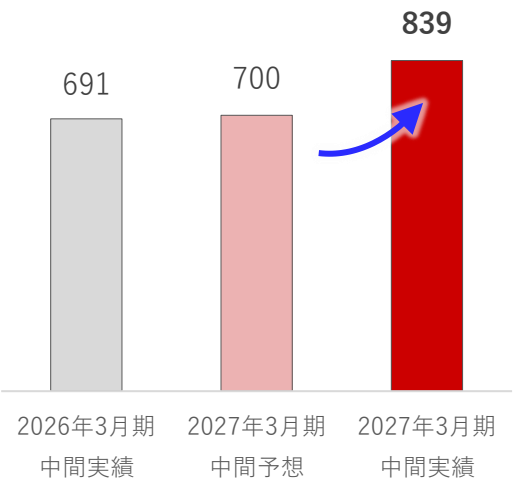
前期比	+202.4%
予想比	+15.9%



親会社株主に帰属する中間純利益

839 百万円

前期比	+21.5%
予想比	+20.0%



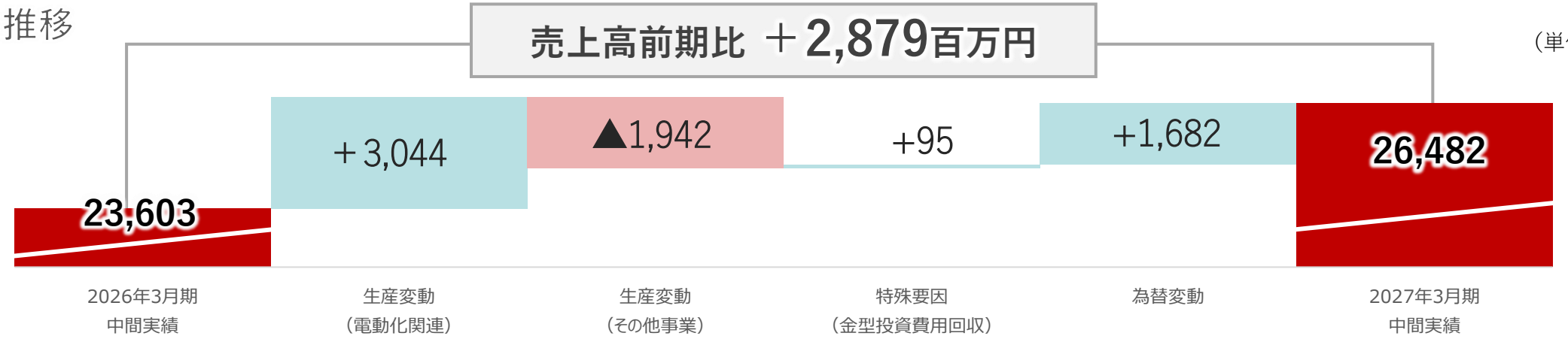
※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

為替レート	2026年3月期中間実績(円)	**2027年3月期中間実績(円)**	増減金額(円)	増減率(%)
タイバーツ	4.45	**4.92**	+0.47	+10.6%
人民元	20.53	**23.02**	+2.49	+12.1%

2.増減要因

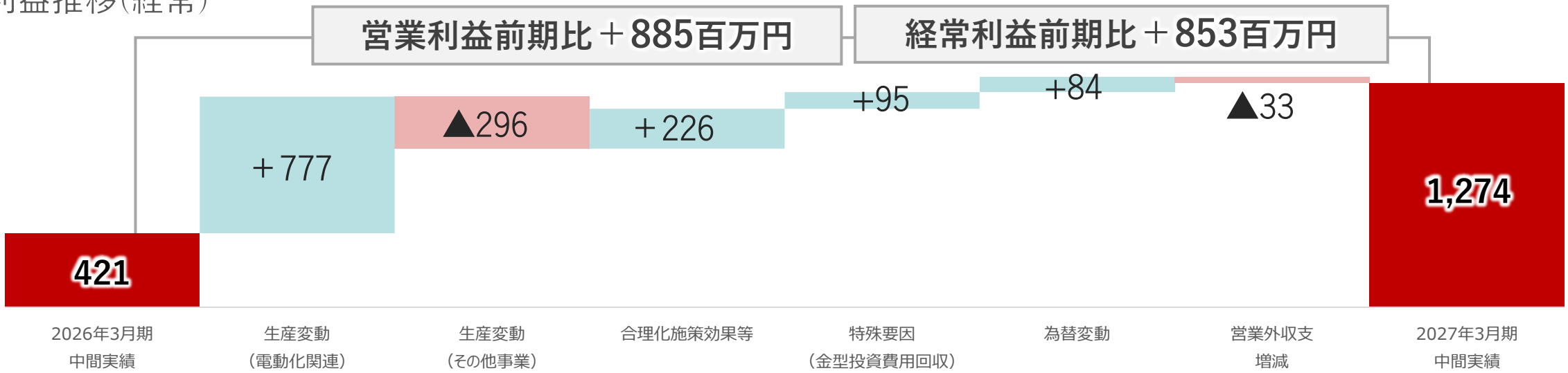
◆ 売上推移

（単位：百万円）



中国セグメントにおける電動化部品の増産影響により、増収。

◆ 利益推移(経常)



電動化関連の増産影響に加え、合理化施策効果等により増益。

3.セグメント業績(日本)

売上高

9,968 百万円

前期比 **+12.7%**

営業利益

186 百万円

前期比 **+61.5%**

経常利益

515 百万円

前期比 **+29.0%**

岡山生産車種及び**新規受注車種が増加**したことにより、**売上高は増加**。

増収効果に加え、製造経費の削減等、**継続的な原価低減活動の推進**により、**営業利益、経常利益ともに増加**。

※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、
当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。



岡山工場

3.セグメント業績(タイ)

売上高

2,736 百万円

前期比 ▲15.5%

営業利益

71 百万円

前期比 ▲51.1%

経常利益

31 百万円

前期比 ▲67.6%

主要客先向け自動車部品の生産は、**前期に発生した上半期の集中生産解消に伴い、前年同期比では国内及び輸出向けともに減少**し、**売上高は減少**。

継続して収益体質の改善に取り組んだものの、**減産の影響**が大きく、**営業利益、経常利益ともに減少**。



タイ・マルジュン社

※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、
当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

3.セグメント業績(中国)

売上高

13,901 百万円

前期比 **+18.8%**

営業利益

1,457 百万円

前期比 **+175.0%**

※営業利益は広州、武漢、福建の単純合計

経常利益

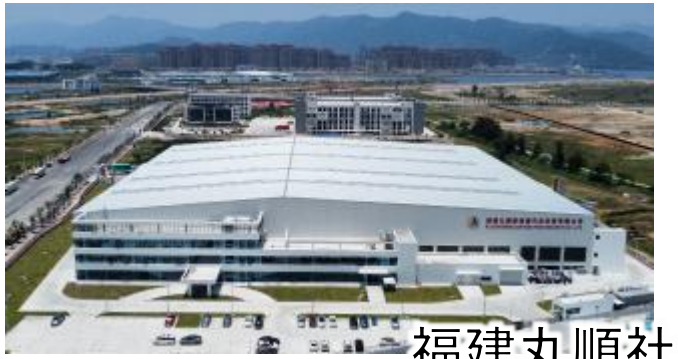
1,148 百万円

前期比 **+330.7%**

日系OEMの減産は依然として継続する中、車載電池メーカー向け**電動化部品の生産が堅調**に推移したことに加え、**新規受注車種の増加**により、**売上高は増加。**

増収効果に加え、既存事業における更なる**人員最適化**及び**固定費削減**等の取組みにより、**営業利益、経常利益ともに増加。**

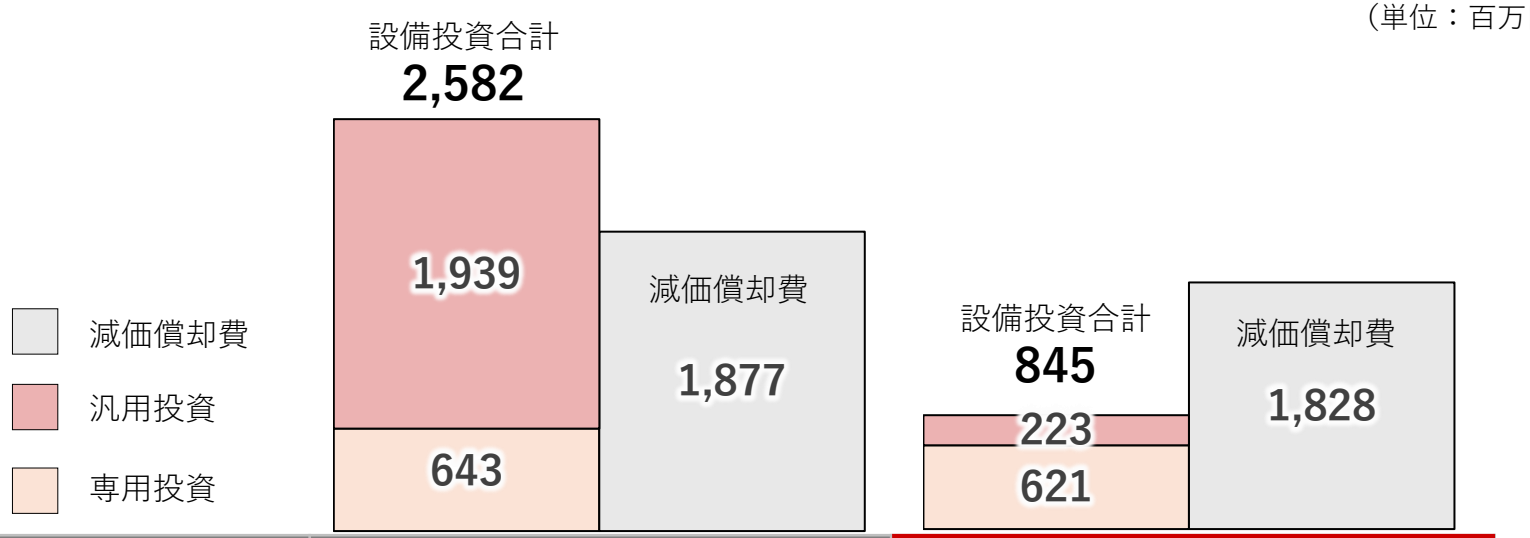
※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、
当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。



福建丸順社

4.設備投資額、減価償却費

（単位：百万円）

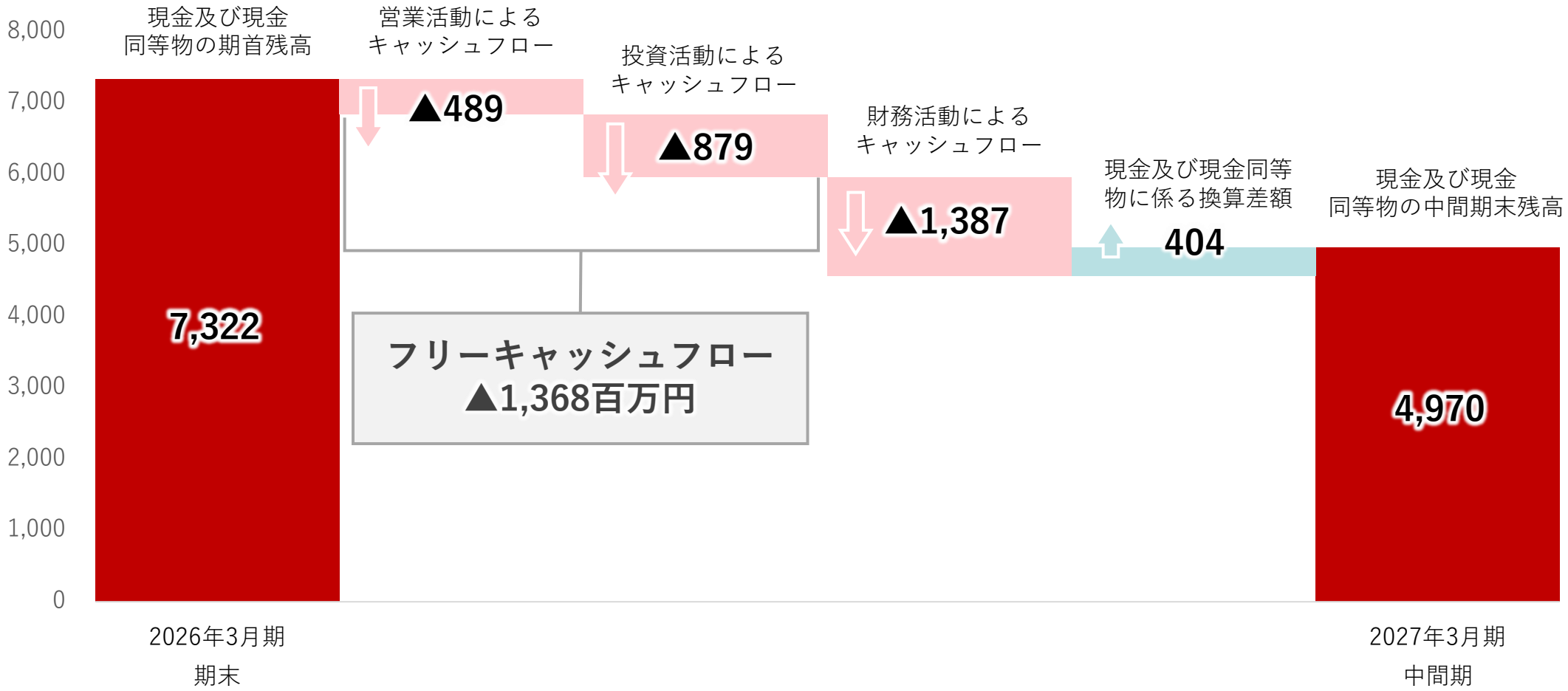


		2026年3月期（中間）	2027年3月期（中間）
主な投資	日本	汎用投資 ・岡山工場関連	汎用投資 ・岡山工場関連
	中国	汎用投資 ・広州塗装ライン ・福建工場関連	汎用投資 ・福建工場溶接機
	全拠点共通	専用投資 ・新型車種金型	専用投資 ・新型車種金型

汎用投資は、日本の岡山工場関連・中国の福建工場関連等の中長期的な成長投資がひと段落し、前年比減少。
減価償却費は、過年度の構造改革(生産能力適正化)の継続効果等により抑制。

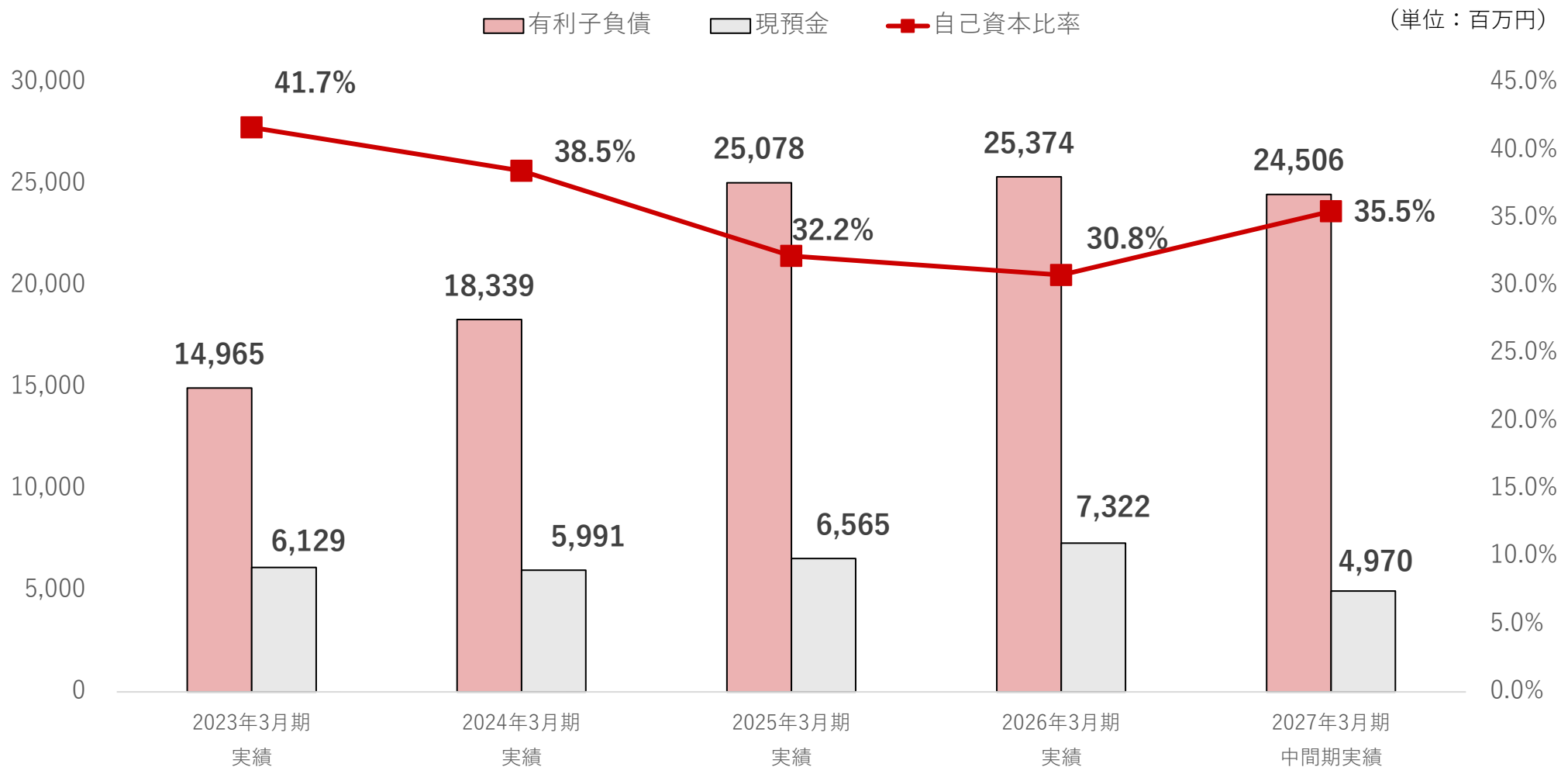
5.連結キャッシュフローの状況

（単位：百万円）



日本における支払条件の変更や中国における特別退職金の支払い等により
営業活動によるキャッシュフローが悪化し、フリーキャッシュフローは▲1,368百万円

6.財務状況



有利子負債は、これまでの成長投資に必要な資金調達が一巡し、足許では借入金の返済が進展。
自己資本比率については、利益創出により、改善傾向で推移。

7.通期連結業績予想

- 2027年3月期は、中間期までの実績は予想比増収増益で推移。
- 下期についても電動化事業の確実な成長を見込んでいるものの、
  海外を中心とした主要客先の減産に歯止めがきかず、先行き不透明な状況が続くと想定。
- 以上のことから、2027年3月期通期連結業績予想は据え置きとする。

（単位：百万円）

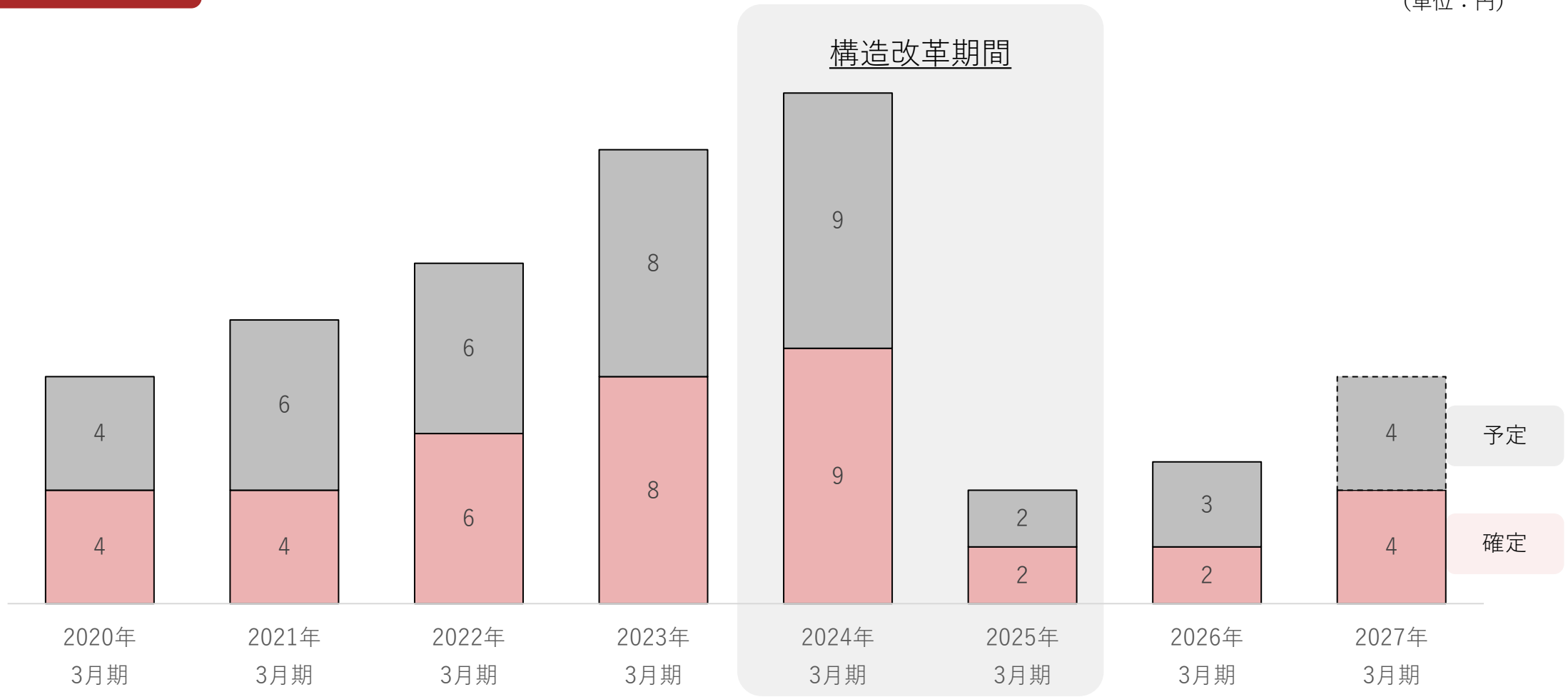
	2026年3月期 実績	**2027年3月期 通期予想**	増減額	増減率
売上高	51,919	50,000	▲1,919	▲3.7%
営業利益	1,858	2,400	+541	+29.1%
営業利益率(%)	(3.6%)	(4.8%)		
経常利益	1,140	1,600	+459	+40.2%
経常利益率(%)	(2.2%)	(3.2%)		
当期純利益	891	1,000	+108	+12.2%
当期純利益率(%)	(1.7%)	(2.0%)		
一株利益(円)	77.66	87.11	+9.45	-

	2027年3月期予想（円）
為替レート	タイバーツ：4.88、人民元：23.22

配当について

配当の推移

（単位：円）



2027年3月期は、連結/単体業績・配当方針及び当社を取り巻く環境等を総合的に勘案し、
中間配当は４円とさせていただきます。

技術で夢を

-Make our dreams by Technology-

▼ WEBSITE

HP ➤ https://www.jp-jmax.co.jp

J-MAXグループ
全体の情報を
網羅的に発信中！

▼ OFFICIAL SNS

YouTube ➤ @J-MAX3422

IR情報を中心に
動画で情報発信中！

▼ OFFICIAL SNS

X(旧Twitter) ➤ @J_MAX3422

最新情報を
写真付きで発信中！

この資料は、株式会社J-MAX（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。
また、将来に関する記述については、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの内容とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。